

TEAM IMPUL

Race result report



2014年 SUPER FORMULA シリーズ 第7戦
13th JAFグランプリ鈴鹿
三重県 鈴鹿サーキット
(2014年11月8日～11月9日)

Hoshino Racing Co.,Ltd.

SUPER FORMULA 2014 Round 7

SUZUKA CIRCUIT Race Report 2014.11.8~9

LENOVO TEAM IMPUL No.19 J.P de Oliveira

No.20 Narain Karthikeyan

JPがRace1スタートで魅せる! 王者ならずも意地の1勝を飾る

いよいよ今シーズンのSUPER FORMULAも最終戦を迎えました。今年はニューマシンSF14が導入され、注目の1年となりました。LENOVO TEAM IMPULとしてはドライバーラインナップを変更、ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラに加えF1を経て2001年以来のチーム復帰となったナレイン・カーティケヤンを迎え挑みました。速さ、強さなどパフォーマンスを発揮できた一方で、天候に翻弄されたりミスが出たりと浮き沈みの激しいシーズンとなってしまいました。今回の鈴鹿は2レース制かつエクストラポイントも加わる大事なレース。オリベイラがランキング2位から自身2度目のトップフォーミュラチャンピオン奪取を狙いました。



11/8(土)公式予選 天候:くもり コース:ドライ 気温:19℃ 路面温度:20℃ 観客動員数:12000人

予選は、降雨はなく少しばかり日差しが差す中、ドライコンディションにて行われました。今回は2レース制のため、第2戦富士と同様Q1でレース1のグリッドが、Q1~Q3の総合結果でレース2のグリッドが決まります。直近2戦のオートボリス、SUGOと予選で苦戦していたこともあり、LENOVO TEAM IMPULの2台ももちろんQ1から積極的なアタックを繰り広げて行きました。Q1は13時30分から、20分間で行われました。オリベイラとカーティケヤンともにまずは、ユーズドタイヤを装着し感触を確認。一旦ピットに戻り残り7分を切るところで再びコースインしていきました。レース1のPPを奪うべく攻めていきますが、残念ながら届かず、オリベイラは1.38.248でセカンドローの4番手、カーティケヤンは1.39.008で11番手となりました。レース1の予選結果としては無念な結果となりましたが、2台ともQ2へ駒を進めたため、レース2のグリッドのために気持ちを切り替えていきました。Q2は14時からスタート。7分間の走行でQ3に進む8台を篩いにかけてます。オリベイラが37秒台に突入し、1.37.934でQ2を3位につけ、PPを獲得した第4戦もてぎ以来のQ3へ進出。一方のカーティケヤンは1.38.420で10番手に甘んじて、Q3進出はなりませんでした。Q3は14時17分から7分間で行われました。出走した上位8台は全員トヨタレーシングのマシンで、順当にチャンピオンを争っているドライバーが出揃っていました。是が非でもPPを獲得して弾みをつけたいオリベイラ。セッション開始後、少し間を空けてからコースイン。一番乗りでアタックに挑んでいきますが、1.38.000とQ2で出した自己ベストに及ばず、6位となってしまう、これがレース2のスターティンググリッドとなりました。



JPの鳥肌もののスタートシーン



1. スタート直後、4番グリッドからアウト側へ



2. すぐさまロッテラーの前へ



3. そのまま第1コーナーへ



4. 37号車はインを抑えるが



5. レコードラインのJPは車速に勝りトップへ

11/9(日) 決勝レース1

天候:雨 コース:ウェット 気温:17℃ 路面温度:18℃

決勝レース距離 5.807km×19laps=110.333km

観客動員数:12000人

朝から小雨模様となった鈴鹿サーキット。10時10分にフォーメーションラップがスタートしました。全車グリッドにつきますが、エンジンストールしたマシンがあったためスタートディレイ。10時21分に再びフォーメーションラップが開始しました。これによりレースは19週の周回数へ。今度は無事にスタートが切られました。4番グリッドから、オリベイラが抜群の好スタート!華麗なライン取りでアウト側から一気に3台をオーバーテイクし見事トップに立ちました。星野一義監督以下、ピット内はまるで優勝が決まったかのように大盛り上がり。カーティケヤンは予選11位でしたが、グリッド降格のマシンがあったため10位からのスタート。オープニングラップで9位へとポジションアップを果たしました。オリベイラはここから2位以下の後続を引き離しにかかります。カーティケヤンは激しい7位争いを複数台で展開。5周目を過ぎた頃から徐々に雨脚が強まり、コースオフをするマシンも出てきました。11周目に1台マシンがクラッシュ。これによりセーフティーカーが導入されました。これでオリベイラが5秒近く築いたマージンはリセットに。マシン回収を終えて、14周目にレースはリスタートが切られました。トップ走行中のオリベイラの背後には、2位のNo.37中嶋一貴選手(PETRONAS TEAM TOM'S)が一気に接近してきましたが、セクター1でポジションを死守したあとは再び引き離しにかかりました。この後も雨に足を取られてスピンやコースアウトするマシンもありましたが、危なげなく周回を重ね、オリベイラは見事レース1優勝を飾りました。これでポイントランキングはランク1位の中嶋一貴選手に1ポイント差まで一気に迫ることに成功しました。カーティケヤンは10位でフィニッシュとなりました。

素晴らしいレースを見せたオリベイラは、ピット内スタッフそして鈴鹿サーキットに駆けつけたファンを沸かせました。レース2は難しいレースになりますが、非常に前向きな午後のレースを迎えることとなりました。



6. 2ラップ目の1コーナーでは大差が

11/9(日) 決勝レース2 天候:雨 コース:ウェット 気温:17℃ 路面温度:18℃

決勝レース距離 5.807km×28laps=162.596km 観客動員数:12000人

雨は引き続き降っているものの、レース1の時よりは雨脚が弱まった中で始まったレース2。オリベイラはレース1の優勝で一気に流れを引き寄せましたが、このレースは6位スタート。一方のランキングトップのNo.37中嶋一貴選手(PETRONAS TEAM TOM'S)はPPからのスタート。非常に厳しいポジションに立たされていることは間違いありません。とにかく中嶋一貴選手の前でゴールしなければチャンピオンはないというシンプルなストーリーのレースとなりました。この状況の中、決して諦めないオリベイラは、再び見事な好スタートを切り6位から4位へポジションアップに成功!しかし、3列目からではトップを奪うまでには至りません。カーティケヤンは10位からのスタートで、順位を上げ7位に。2人とも2レース通して素晴らしいスタートを決めました。オリベイラは、レース1でトップ走行によりライバルに浴びせた水しぶきを、今度は自分がかぶるという難しいコンディション、そして視界の中、ポジションキープするもののトップとの差をつけられてしまいます。3位のマシンに一時接近しながら前をうかがいますが、オーバーテイクには至らず。オリベイラは18周目にはこの時点のファステストラップを出して意地を見せます。25周目、3位のマシンが最終コーナーでミスしてホームストレートでオーバーテイクボタンを使い1コーナーで並びかけるも、惜しくもかわせず。好機を逸した後はポジションキープを強いられてしまい、オリベイラはそのまま4位でフィニッシュとなりました。1〜3位のドライバーは世界トップクラスの速さを持っている優れた3人で、簡単に順位をあげるには至りませんでした。2014年1年間、シリーズの主導権を握るも残念ながらチャンピオンには届きませんでしたが、堂々シリーズ2位でレースを終えました。カーティケヤンは中団でのレースとなりましたが、随所で見せ場を作り、8位でポイントを獲得しシーズンを締めくくりました。

今シーズンはオリベイラが数多くの勝利を挙げ、速さをアピール出来たことはポジティブな結果かと思います。その反面、チームのサポート面でのミスでノーポイントのレースも多々あったのは改善していかなければなりません。カーティケヤンは慣れないコースに挑戦したが、国内のレベルの高さの前に上位に入るのは厳しかった。来シーズンは最良の体制を整え、王者奪回を目指します。今年1年間応援、またご支援ご協力ありがとうございました。

チームインパル ゼネラルマネージャー

金子 豊



LENOVO TEAM IMPUL 2014年シーズンの全戦績

第1戦	鈴鹿	オリベira	予選5位	決勝7位	／	カーティケヤン	予選2位	決勝リタイア
第2戦	富士R1	オリベira	予選PP	決勝優勝	／	カーティケヤン	予選8位	決勝7位
	富士R2	オリベira	予選2位	決勝2位	／	カーティケヤン	予選8位	決勝6位
第3戦	富士	オリベira	予選2位	決勝リタイア	／	カーティケヤン	予選11位	決勝7位
第4戦	もてぎ	オリベira	予選PP	決勝優勝	／	カーティケヤン	予選12位	決勝リタイア
第5戦	AP	オリベira	予選9位	決勝3位	／	カーティケヤン	予選19位	決勝17位
第6戦	SUGO	オリベira	予選11位	決勝リタイア	／	カーティケヤン	予選17位	決勝11位
第7戦	鈴鹿R1	オリベira	予選4位	決勝優勝	／	カーティケヤン	予選11位	決勝10位
	鈴鹿R2	オリベira	予選6位	決勝4位	／	カーティケヤン	予選10位	決勝8位
ドライバー・シリーズランキング				オリベira 2位 ／ カーティケヤン 13位				
チーム・シリーズランキング				LENOVO TEAM IMPUL 4位				

TEAM IMPUL Next Race Information

SUPER GT 最終戦 11/15(土)~16(日) ツインリンクもてぎ(栃木県)

TEAM IMPUL Event Information

TOYOTA GAZOO Racing FESTIVAL 11/23(祝) 富士スピードウェイ(静岡県)

NISMO FESTIVAL at FUJI SPEEDWAY 11/30(日) 富士スピードウェイ(静岡県)

TOKYO AUTO SALON 2015 1/9(金)~11(日) 幕張メッセ(千葉県)



協賛各社様

トヨタ自動車株式会社

レノボ・ジャパン株式会社

株式会社ブリヂストン

EMG マーケティング合同会社

エンケイ株式会社

日本特殊陶業株式会社

株式会社不二 WPC

タタ・モーターズ

株式会社アライヘルメット

プーマジャパン株式会社

株式会社銀座千疋屋

キーバ株式会社

株式会社ホシノインパル

順不同・敬称略



チャンピオンとなった中嶋一貴 選手と健闘を讃え合う



監督・ドライバーからのコメント

星野一義

レース1はとにかくJP様で、彼に尽きる。見事なスタートだった。そのあとのレース2の結果で、残念ながらチャンピオンには届かなかったけれどもいいレースをお客さんに見せられたと思う。ナレインもよく見せ場を作ってテレビに映りレースを盛り上げてくれた。1年間本当に応援ありがとうございました。GTでリベンジします！

No.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ

とにかくスタートに賭けていたし、スタートで前に出なければあとはないと思って頑張りました。今回は予選で1列目を狙っていたがいけず、両レースともに厳しい展開になるところでしたが、レース1は本当にうまくいった。レース2は3列目からどうしても難しかった。中嶋一貴選手は1年間通して安定していたしチャンピオンにふさわしいと思う。GTに気持ちを切り替えて頑張ります。

No.20 ナレイン・カーティケヤン

1年間チームインパルのスタッフは素晴らしい仕事をしてくれたので、なんとかポイントを取ってシーズンを終えたいと思っていたので最後レース2で取れて良かった。久々の日本で初めてのコースもあったし頑張ったのだけでも苦戦してしまいました。また来年に向けて頑張ります。応援してください。



第2レースを控えインタビューにもやや緊張気味のJP



オールスタッフでのフォト



レース終了後のパーティーで、シリーズ1～6位のドライバー



レノボ様が、鈴鹿のレースプログラムに広告を掲載



大人気のレノボーガール

11/9(日) 決勝レース1 天候:雨 コース:ウェット 気温:17℃ 路面温度:18℃
 決勝レース距離 5.807km×19laps=110.333km

■ Race1 (19Laps)							2014.11.9
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Laps	Time	Delay	BestTime
1	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベ イラ Joao Paulo Lima De Oliveira	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	19	39'41.541	166.78km/h	1'55.837
2	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	19	39'45.387	3.846	1'56.520
3	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	19	39'47.118	5.577	1'56.416
4	39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	19	39'55.652	14.111	1'56.835
5	38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	19	39'58.942	17.401	1'56.935
6	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	フジ・コーポレーション KONDO SF14 TOYOTA RI4A	19	40'02.239	20.698	1'56.915
7	1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	19	40'03.352	21.811	1'57.058
8	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	HP SF14 Honda HR-414E	19	40'04.501	22.960	1'57.275
9	31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	19	40'05.564	24.023	1'57.533
10	20	ナレイン・カーティケヤン K.R.Narain Karthikeyan	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	19	40'06.182	24.641	1'57.696
11	8	ロイック・デュバル Loic Duval	Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	19	40'06.908	25.367	1'56.642
12	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40T SF14 Honda HR-414E	19	40'07.981	26.440	1'57.019
13	41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-414E	19	40'09.338	27.797	1'57.270
14	34	伊沢 拓也 Takuya Izawa	DRAGO CORSE SF14 Honda HR-414E	19	40'19.032	37.491	1'58.573
15	11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi	HP SF14 Honda HR-414E	19	40'20.636	39.095	1'57.655
16	7	平川 亮 Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	19	40'22.305	40.764	1'56.614
以上完走							
	2	中山 友貴 Yuhki Nakayama	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	14	30'14.657	5Laps	1'57.716
	62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	DENSO Le Beausset SF14 TOYOTA RI4A	14	30'18.619	5Laps	1'59.721
	32	小暮 卓史 Takashi Kogure	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	9	18'06.452	10Laps	1'57.936
	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	9	18'12.684	10Laps	1'58.303

19周レースとした。

車両: SF14 / タイヤ: プリヂストン

(2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ統一規則 第27条10."START DELAYED")

開始時刻: 10:25'11

SC導入時刻: 10:45'25

SC解除時刻: 10:53'16

終了時刻: 11:04'52

規定周回数 17

FASTEST LAP:

No.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ /

Lenovo TEAM IMPUL SF14 1'55.837 8/19 180.47km/h

11/9(日)決勝レース2 天候:雨 コース:ウェット 気温:17℃ 路面温度:18℃
 決勝レース距離 5.807km×28laps=162.596km
 観客動員数:人

Race2 (28Laps)							2014.11.9
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Laps	Time	Delay	BestTime
1	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	28	54'37.300	178.61km/h	1'55.937
2	36	アンドレ・ロッター Andre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	28	54'46.131	8.831	1'56.112
3	8	ロイック・デュバル Loic Duval	Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	28	54'46.709	9.409	1'55.869
4	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo Lima De Oliveira	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	28	54'48.119	10.819	1'56.110
5	7	平川 亮 Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	28	54'59.356	22.056	1'56.418
6	1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	28	55'11.504	34.204	1'57.229
7	38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	28	55'15.540	38.240	1'56.829
8	20	ナレイン・カーティケヤン K.R.Narain Karthikeyan	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	28	55'16.498	39.198	1'56.789
9	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40T SF14 Honda HR-414E	28	55'16.956	39.656	1'56.761
10	3	ジェームス・ロスター James Rossiter	フジ・コーポレーション KONDO SF14 TOYOTA RI4A	28	55'20.065	42.765	1'57.329
11	11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi	HP SF14 Honda HR-414E	28	55'20.761	43.461	1'57.057
12	41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-414E	28	55'28.877	51.577	1'56.591
13	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	HP SF14 Honda HR-414E	28	55'42.149	1'04.849	1'57.383
14	34	伊沢 拓也 Takuya Izawa	DRAGO CORSE SF14 Honda HR-414E	28	55'43.979	1'06.679	1'57.353
15	31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	28	55'44.610	1'07.310	1'57.650
16	32	小暮 卓史 Takashi Kogure	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	28	55'45.946	1'08.646	1'57.521
17	2	中山 友貴 Yuhki Nakayama	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	28	55'47.075	1'09.775	1'57.473
18	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	28	55'52.567	1'15.267	1'57.927
19	62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	DENSO Le Beausset SF14 TOYOTA RI4A	28	56'00.189	1'22.889	1'58.013
以上完走							
	39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	14	27'59.240	14Laps	1'57.824

開始時刻: 15:04'10
 終了時刻: 15:58'47
 規定周回数 25

車両: SF14 / タイヤ: プリヂストン

11/8(土)公式予選

天候:くもり コース:ドライ 気温:19℃ 路面温度:20℃

■ Qualifying					2014.11.8	
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Q1	Q2	Q3
1	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'38.085	1'38.207	1'37.507
2	8	ロイック・デュバル Loic Duval	Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'38.418	1'37.821	1'37.671
3	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'38.085	1'38.071	1'37.717
4	39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'38.231	1'38.309	1'37.862
5	38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'38.506	1'37.809	1'37.900
6	19	J.P.デ・オリベイラ J.P.L.De Oliveira	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'38.248	1'37.934	1'38.000
7	7	平川 亮 Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'38.519	1'38.346	1'38.239
8	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	フジ・コーポレーション KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'38.971	1'38.340	1'39.721
9	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	HP SF14 Honda HR-414E	1'38.814	1'38.375	
10	20	ナレイン・カーティケヤン K.R.Narain Karthikeyan	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'39.008	1'38.420	
11	1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	1'38.474	1'38.434	
12	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40T SF14 Honda HR-414E	1'39.164	1'38.823	
13	2	中山 友貴 Yuhki Nakayama	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	1'39.036	1'39.010	
14	41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-414E	1'39.243	1'39.142	
15	32	小暮 卓史 Takashi Kogure	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	1'39.450		
16	34	伊沢 拓也 Takuya Izawa	DRAGO CORSE SF14 Honda HR-414E	1'39.630		
17	31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	1'39.705		
18	11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi	HP SF14 Honda HR-414E	1'39.729		
19	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	1'40.031		
20	62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	DENSO Le Beausset SF14 TOYOTA RI4A	1'40.748		

予選通過基準タイム (Q1-107 %) 1'44.950

車両: SF14 / タイヤ: プリヂストン

SF 2014 SERIES RANKING

- Driver ranking

[illegible]

- Team ranking

[illegible]